



慶應義塾大学ビジネス・スクール

コマツ栗津工場

5

— 本業を通じた CSR の実現 —

コマツ栗津工場の GOOD FACTORY 賞受賞

10

株式会社小松製作所（以下、コマツ）栗津工場（石川県小松市）は、一般社団法人日本能率協会が運営する「GOOD FACTORY 賞」において、2015 年度の「ものづくり CSR 貢献賞」を受賞した。^[1] コマツは 2015 年度までの中期経営計画において、本業を通じた社会課題の解決を大きな方針の 1 つとしており、それを体現する形となった。老朽化した工場を立て直す上で、生産性の向上のみならず、「新組立工場の購入電力 90%削減」という高い数値目標を掲げ、コマツの従業員はもとより、地域、

関連企業、大学等の幅広いステークホルダーとの協業によって目標を達成した取り組みが評価された。さらに、新工場建設の取り組みを地域事業として発展させ、地域の課題解決、雇用の創出といった社会貢献にもつなげている。

15

コマツの沿革と経営環境

20

コマツは、1921 年に竹内鋳業株式会社（遊泉寺銅山）の鋳山用機械修理部門であったコマツ鉄工所を分離・独立し、現在の JR 小松駅東側に本社を置き、社名を「小松製作所」として発足した。当初は、主にプレス機械や高級鋳物などを製造していたが、農林省の委託を受け、1931 年に農耕用トラ

25

^[1] 日本能率協会 GOOD FACTORY 賞公式サイトより
<https://www.jma.or.jp/mono/factory/award/2015/komatsu.html>

本ケースは、標記企業の全面的な協力を得て、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 M39 期生の木村竜樹と坂爪 裕教授が共同で作成した。本ケースは、クラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。インタビューに快く応じて頂いた、コマツ執行役員生産本部栗津工場長の藤田直樹氏、同栗津工場生産技術部部长の林 譲二氏、同栗津工場生産技術部管理課課長の戸井良広氏、同栗津工場総務部担当部長の福田 忍氏に心から感謝したい。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒 223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ず、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 坂爪 裕、木村竜樹 (2017 年 6 月作成)